

テーマ

ふるさとを探検しよう！

事業実施地区（中学校区名）	出雲市立第二中学校校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	塩冶コミュニティセンター 古志コミュニティセンター

テーマの背景

近年、この地域では他地区からの転入者も多く、ふるさとの文化や歴史があまり知られていない。そこで、ふるさとの文化や歴史をその現場で学ぶことによって、ふるさとの素晴らしさをわかってもらいたいと考えた。

実際の取組

塩冶地区や古志地区の文化施設や史跡を歩いて訪ね学ぼう！

事業名：ふるさと探検 I

<取組の概要>

- 1 子どもの探検（7月）
  - (1) 現代の地域を知る  
畜産試験場や斐伊川放水路を見学して、その役割を学習した。
  - (2) 地区の歴史を知る  
元寇の防御のためにできた半分城址や、神戸川の兩岸にある恵比寿神社を見て、それらがなぜ造られたのかを歴史とともに学んだ。
- 2 大人の探検（11月）
  - (1) 現代の地域を知る  
斐伊川放水路へ行き、先人の斐伊川の治水に向けた苦労を学び、放水路の重要な役割をあらためて知った。
  - (2) 地域の歴史を知る  
江戸時代の松江藩で重役を務めた布野邸へ行き、大きな財力で松江大橋を改修し、褒美として大根島を拝領したなど、地区内の身近な人が、大きな功績をあげていたことを学んだ。



<成果と課題>

- 1 参加者はいままで普通に眺めていたものの大きな価値を知り、驚き、ふるさとの文化や歴史に関心が出てきた。少しずつふるさとの良さも分かってくる、自分たちが住んでいる地域をさらに知りたいという興味が生まれてきた。
- 2 今回はふるさとの一部であって、今後も多くを学び続けてほしい。また、より多くの地区住民の参加につなげ、ふるさとの素晴らしさをもっと多くの人に知ってほしい。

ふるさとの偉人一大楯七兵衛を学び、ダムや記念館から斐伊川治水を学ぼう！

事業名：ふるさと探検 II

<取組の概要>

1 多世代が一緒に行った探検（10月）

(1) 先人の偉業（農業）

大楯七兵衛の墓や七兵衛が造った十間川を見学することで、その業績がどんなに偉大で、多くの農民の役に立ったかを学んだ。

(2) 先人の英知（防災）

斐伊川放水路記念館や志津見ダムを見学することで、塩治や古志の人々が斐伊川の洪水にどれだけ困らされたか、どんなことを考えて現在の施設をつくったのか、先人の英知や勇気、苦労を学んだ。



<成果と課題>

- 1 住民の暮らしを支えてきた農業について、用水河川を築造した当時の苦労や、実際に手伝った人々の思い、農民の喜びを現地で感じ取ることで、先人への感謝と地区への愛着の思いが増した。
- 2 実際にダムの内部の見学をし、その巨大さを間近に実感したことで、河川災害の恐ろしさを再認識した。河川の氾濫を防ぐために、国、県、市及び地元住民が協力して、住みよい郷土をつくってきたことに改めて気づいた。
- 3 課題として、より多くの人達に自分たちが住んでいるふるさとが、多くの先人によって拓かれてきたことを知ってもらえるよう引き続き取組が必要である。  
そのことが、自分たちの住む地域への誇りを生み出すことにつながると感じている。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- 1 実際の文化施設や歴史が刻んだ史跡での学習は、参加者の想像力を刺激し、とても意欲的に学ぶことができた。
- 2 事前にクイズなどで課題意識を持ってもらおうと、進んで質問をするなど好奇心が旺盛になり、意欲的な学習ができた。

今後の展望

- 1 集会や広報でふるさとの素敵な情報を発信し、郷土を愛する気持ちを育てたい。
- 2 ふるさとの情報を盛り込んだ冊子「えんや物語」ができて、30年ぐらいたった。改めて、地区住民に読んでもらって、ふるさとの良さをもっと知ってもらおうよう活用したい。
- 3 ふるさとのウォークラリーを継続し、歴史的財産や文化的財産がふるさとにはたくさんあることに気づいてもらいたい。